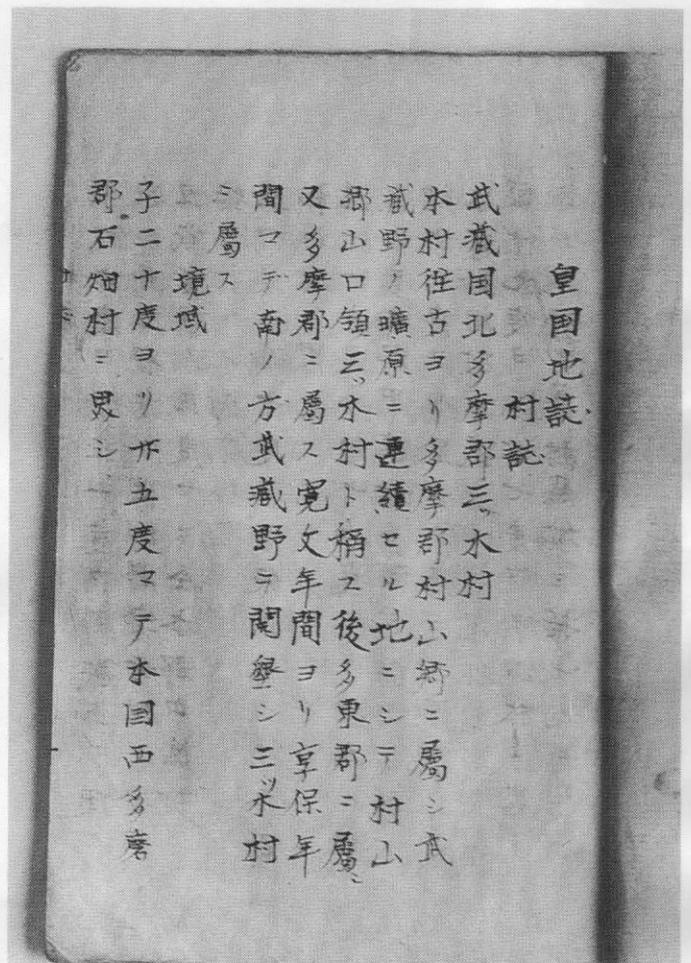
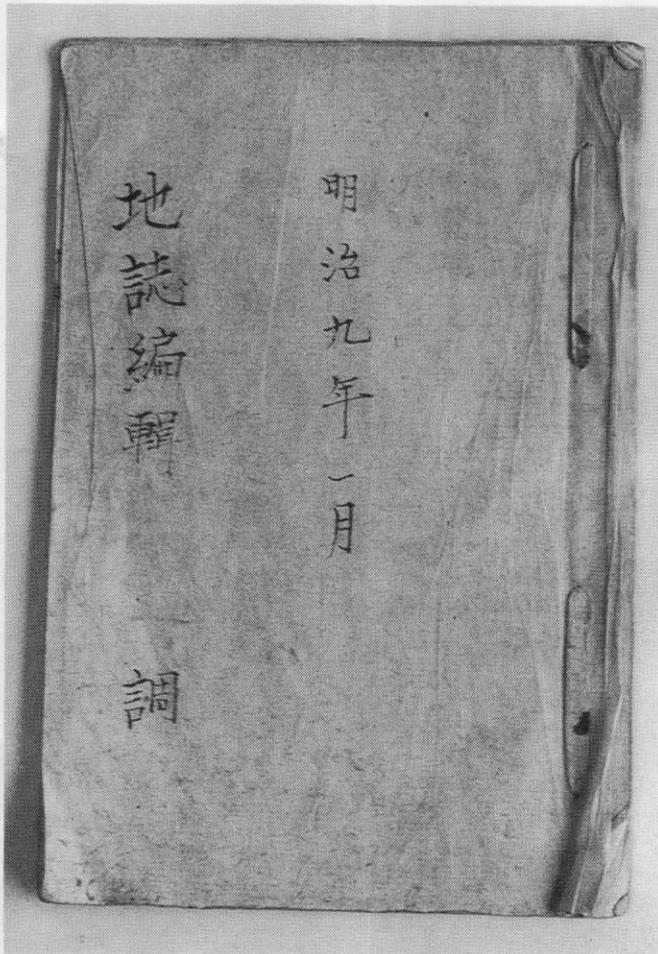


資料館だより

平成 8 年 (1 9 9 6)

10 月 1 日

編集・発行 武蔵村山市立歴史民俗資料館 〒208 武蔵村山市本町 5-21-1 TEL 0425(60)6620



新発見の三ツ木村村誌 (皇国地誌) 写

みつぎむらそんし

こうこくちし

明治9年(1876) / 24.3cm(タテ) × 16.5cm(ヨコ)

市内三ツ木三丁目・川口惣次郎氏所蔵

新発見の三ツ木村村誌（皇国地誌）写

本年6月18日、市内三ツ木在住の本木義治氏が表紙に「明治九年一月 地誌編輯調」と記された冊子を当館へ持参してくれました。氏はかねてより、明治初期に作成された三ツ木村（現在の武蔵村山市の母体となった村の1つ）の村誌（皇国地誌の稿本）写が存在することを確認しており、その情報の提供をしてきていました。今回、氏は当館の資料収集のためにと「三ツ木村村誌写」を所蔵者の川口惣次郎氏より借り受けてくださいました。

皇国地誌とは明治政府が明治8年（1875）全国の府県及び町村に郡誌・町村誌の提出を命じて、それらをもとに作成しようとした日本全体を網羅する地誌のことです。皇国地誌の編さんを担当した地誌課は所属を変えながら明治11年（1878）以降、内務省地理局に属しました。地理局では郡誌・町村誌の調査、執筆に際し、各地域で担当者を決めさせ、数十項目にわたる報告を求めました。順次、完成した郡誌・町村誌は地理局に提出されていきましたが、その体裁はまちまちであり、そのうえ、提出の遅れる府県・町村も多く、事業は滞りがちでした。

そのため、内務省地理局では各府県・町村に調査中の資料をすべて提出させ、新たな方針のもと郡誌・町村誌の調査を行い、それをもとに「大日本国誌」の編輯を開始しました。

その後、明治23年（1890）に事業は帝国大学に移管され、大正12年（1923）関東大震災により郡誌・町村誌などの調査資料の多くを焼失してしまいました。こうして、皇国地誌の編さんは未完の

まま終りを告げることとなりました。

現在、わずかに焼失を免れた郡誌・町村誌が東京大学に残されているほか、各地域の役所、図書館、旧家などに写しが残されていることがあります。

武蔵村山市内では今まで皇国地誌の稿本となる村誌の存在は確認されていなかったため、この資料の発見の意味は大変大きいといえます。

「三ツ木村村誌写」が川口家に所蔵されていた理由は明らかではありませんが、当時川口家が三ツ木村の何らかの役職にあり、村誌の調査に関与したものと推定されます。

本資料は表紙及び本文末尾に「明治九年一月」と年号が記されており、皇国地誌編輯の通達から1年もたたないうちにまとめられたことがわかります。寸法は縦24.3センチメートル、横16.5センチメートルを計り、袋とじの体裁をとっています。本文は11丁、その書き出しに「皇国地誌 村誌 武蔵国北多摩郡三ツ木村」と記されています。

記されている項目は境域、幅員、管轄沿革、里程、四隣村々距離、金榜駅市距離、地勢、地味、税地、飛地、貢租（ただし記述なし）、戸数、人員、馬、車、山、溝渠、溜池、橋、道路、掲示場、社、堂、学校、物産、民業にわたっています。

なお、埼玉県立文書館に御教示をいただきました。厚く御礼申し上げます。（山田義高）

＜参考文献＞

- 山口静子 「郡村誌」『国史大辞典4』
長谷川伸三 「皇国地誌」『新版郷土史辞典』

資料館事業のお知らせ

歴史講座

- 1 多摩の中世城館見学（申込み終了）
日時 10月20日（土）午前9時～午後4時
講師 市文化財保護審議会委員
内野正氏
- 2 地域の画家吉川緑峰と村山
日時 11月16日（土）午後2時～午後4時
講師 瑞穂町文化財保護審議会委員
吉川忠氏

市指定文化財見学会

- ・昨年12月に新たに指定した文化財（石造物）4件の見学
日時 11月2日（土）午後2時～午後4時
講師 市文化財保護審議会委員
寺町勲氏

* 詳しい内容のお問い合わせと参加申込みは、歴史民俗資料館へ電話してください。

☎ 0425（60）6620

武蔵村山に残る名主家文書について

市文化財保護審議会委員 寺 町 勲

本市域には、江戸時代の文書もんじょがたくさん残っております。これらは、地域の昔の姿をよく教えてくれますが、中でも、いわゆる名主家文書は、往時の村の様子をよく伝えております。

ところで、ここでいう名主家文書とは、名主であったために所持していた文書一般をさします。それには、検地帳・名寄帳・高帳・村明細帳・村絵図・五人組帳・宗門人別改帳・家数人馬書上帳・年貢割付状・年貢皆済目録・年貢小割帳・年貢勘定帳・検見帳・触書・廻状・村議定書・御用留・公用日記・村入用帳・出入訴訟記録その他、名主引継文書を中心に、各種覚・書簡などの私文書なども含まれます。

本市域では中世文書が見つからないので、その時代のことはよく分からないのですが、少なくとも江戸時代初頭には、中藤村（横田村を含む）・三ツ木村・村山村（箱根ヶ崎・石畑・殿ヶ谷・岸で構成）が存在していたことは間違いありません。そして寛文年間までには横田村が中藤村から離れ、村山村が解体されて岸村が独立しております。

また、中藤村は源蔵組・佐兵衛組・市郎衛門組に分かれ、三ツ木村は御料と私領に分かれていましたので、名主は常時7人はいたわけです。

(1) 中藤村源蔵組（沼間氏私領後御料）

渡辺源蔵（市郎左衛門・藤八）家に1800点余の文書が残されております。渡辺本家が当地を去るにあたり、それらの文書を市に寄贈されたので、現在は武蔵村山市立歴史民俗資料館で保管しております。その中には、天明4年（1784）の村山地方打ちこわしや千人同心関係の文書などがあります。

また、内野七郎右衛門家に21点の文書が残されております。この家は、文化5年（1808）ごろから文政7年（1824）ごろまで源蔵家に代わって名主役を勤めていますが、それらの経緯が分かる文書があります。

(2) 中藤村佐兵衛組（御料）

内野佐兵衛家に1600点余の文書が残されております。この家は、現国分寺市中藤新田をはじめ多くの新田を開発しました。年貢割付状や年貢皆済目録などが多く残っており、これら新田名を見ることが出来ます。

(3) 中藤村市郎右衛門組（御料）

乙幡市郎右衛門家に9,000点以上の文書が残されております。中藤村3組の中では人数・高ともに最も大きい組です。多くが長円寺壇家で、3組混住の中でも、特に上中藤村と呼ばれることがあったようです。当市域の名主家文書では最も多数のものを残しており、拜島大日堂縁起や千人同心関係の文書があります。

(4) 横田村（御料）

波多野彦右衛門家に約40点の文書が残されております。しかし多くが襖の下張りに使われていたもので、ばらばらになっているのが残念です。彦右衛門の前に名主をしていた井上三郎左衛門家には文書が残っていないようですから、近隣の村々の文書の中に、関係がありそうなものを求める必要があります。

(5) 三ツ木村（御料）

増尾伝左衛門家に約4500点の文書が残されております。増尾家より前に名主をした田代太左衛門家には残されていないようですから、三ツ木村御料関係文書はこれが中心になります。田代家から増尾家へ名主役が移った事情が分かる文書や大型の村絵図があります。

(6) 三ツ木村（大河内氏私領）

野島嘉右衛門家に約600点の文書が残されております。この中には、領主との関係を示すものや玉川上水関係の文書があります。

また、水越久右衛門家に67点の文書が残されております。その中には、保存状態のよい五人組帳や名主を訴えたものがあります。

その他、名主家であった山崎忠蔵家や網代与兵衛家には文書は残されていないようですし、まだ、名主家の名も全部は分かっていません。

(7) 岸村（御料）

荒田平兵衛家に4314点の文書が残されております。この中には、保存状態のよい検地帳や多くの村入用帳・宗門人別改帳・年貢割付状がありますし、村絵図にもみるべきものがあります。

以上、本市域に残されている名主家文書の概要を述べましたが、次回からは、これら名主家文書を軸として、近世の武蔵村山の姿を探ってみることにしましょう。

寄贈品展示「膳椀類とその収納」

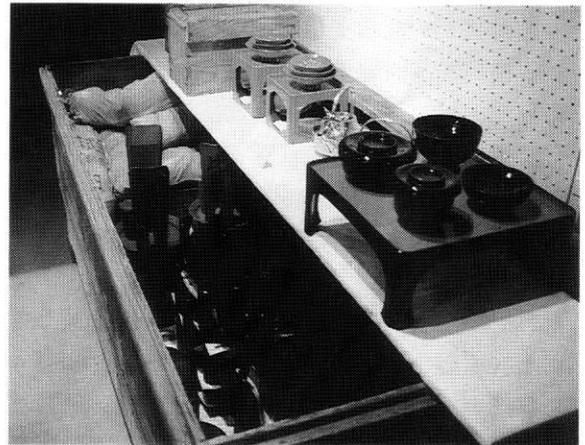
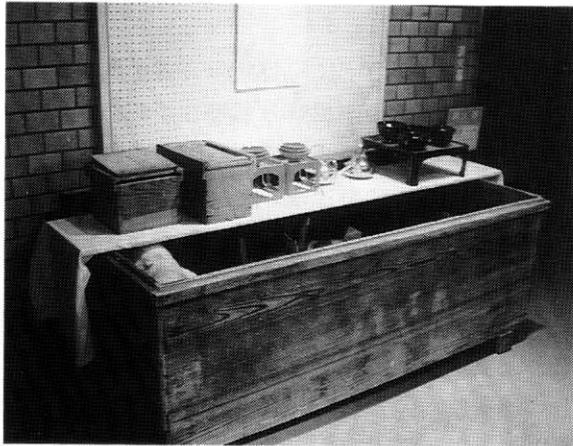
本年6月5日に市内残堀在住の比留間重夫氏より膳椀類の一括品を寄贈していただきました。

一部不足してはいるものの30組分の膳、椀類のほか銚子(オチョウ・メチョウ)1対、三重ねの酒盃と盃台各1対(大小)、角樽1対が大きな長持ちの中にきちんと収納されていました。

銚子、酒盃・盃台は近隣で共同購入したもので、その他は比留間家で購入したものだそうです。椀

類はすべて数個づつ布の袋に入れられ、銚子、酒盃・盃台は木箱に入れられており、いずれも新品のような状態でした。銚子を入れる木箱のふたに大正十五年正月吉日と購入年月の墨書がありました。

寄贈していただいた資料の状態が良好であることと膳椀類の収納状況がよくわかることなどから現在、館内のホールで展示しています。



資料館利用状況 (平成7年度)

月	区分	開館日数	総利用者数	市内		市外	
				人数	割合	人数	割合
4月		25日	1,047人	511人	48.8%	536人	51.2%
5月		22	982	413	42.1	569	57.9
6月		25	1,272	431	33.9	841	66.1
7月		25	1,113	536	48.2	577	51.8
8月		26	1,252	575	45.9	677	54.1
9月		18	665	250	37.6	415	62.4
10月		23	679	390	57.4	289	42.6
11月		23	1,026	467	45.5	559	54.5
12月		21	637	212	33.3	425	66.7
1月		22	704	373	53.0	331	47.0
2月		23	860	519	60.3	341	39.7
3月		25	915	471	51.5	444	48.5
合計		278	11,152	5,148	46.2	6,004	53.8